

Q 森田 まちづくり課長

床掘をして、いろいろ出て
こようかと思うが、現在、変
更もそれほどないという形で
の設計なので、この設計で施
工ができるかと思っっている。



整備が進む町道ミアゲ線(4月2日)

佐賀地区漁業集落環境整備
工事請負契約の変更契約の
締結

佐賀地区の避難広場・避
難路整備を行っっているもの
で、平成25年11月19日に指名
競争入札により有限会社西部
総建代表取締役土居春水が落
札し、平成25年11月25日に契
約を締結したものだ。

主な変更の内容は、法面掘
削後の現地踏査により、法面

の安全対策として、植生基材
吹付工の施行、また、避難広
場の舗装工及び避難誘導灯を
追加施工により813万円の
増額が必要となったため、請
負契約の変更をするもの。

○金額

変更前 4809万円

変更後 5622万円

○契約先 (有)西部総建

○工期 平成25年11月26日～

平成26年3月27日

可決(全員)

2月24日開催

平成26年2月

第23回臨時会

町長提出議案

新産業創造事業

第三セクター

設立へ

平成25年度黒潮町一般会計
補正予算

2250万円を追加補正
し、歳入歳出総額をそれぞれ

96億8359万円とするもの。

新産業創造事業は、第三セ
クターを設立し、運営すると
していた。この度、出資団体
と出資金額が決まり、3月上
旬に第三セクターを設立すべ
く、補正予算を計上するもの。

それぞれの出資団体と出資

額は、幡多信用金庫が300

万円、高知銀行と四国銀行、

オーシャンリース株がそれぞ

れ150万円、本町が225

0万円で、出資団体が5団体、

出資総額が3千万円となっ

ている。 可決(全員)

Q 矢野 昭三議員

新会社の資金繰り、また、
今回立ち上げる組織で適材適
所の人材確保は図れるのか。

A 大西 町長

資金については、缶詰商品
にはストック期間が他商品と
比べて非常に長いという特性
があるため、資本金の額の決
定は、資金繰り計画を組む中
で、資金のショートや慢性的
な資金不足の総額などから総
合的に判断した。

人材については、特にこの

ラボ事業では、人材育成、経営
や製造ノウハウの蓄積などを
重要視した計画となってお
り、それが可能な組織を作り
上げていく。この事業には、企
業支援型による1年間補助が
あるが、次年度からはなくな
り、正式雇用となるため、経営
計画との整合性も図りなが
ら、配置をした。



大西 町長

Q 藤本 岩義議員

缶詰工場関係のデザインに
ついての確認はしているか。

A 大西 町長

デザインは、まだ細部の調
整が必要な段階。こちら側だ
けでは決めづらいところもあ
り、今後、商談先と話し合い
をしながら結論付けをし、出
願したいと思っっている。

Q 西村 将伸議員

今回、2250万円を出資

金として組んだが、コンサル
料も含め、このミニラボ工場
の事業の総額と、農協、漁協
がなぜ出資者に加わらなかつ
たのか。
また、営業面と販売の方法は。

A 大西 町長

総額は、建築関係3600
万円強、設計監理約300万円、
備品3千万円、プロジェクト
チーム委託費が2200万円
強。今回出資分の2250万
円の合計1億2千万円強とな
る。

農協、漁協については、原
材料が町内産でない場合の組
合員等への説明責任を考慮し
た。こちらへは、できるだけ
早く原料調達を町内で行うよ
うな仕入計画を組み、相談を
と思う。

営業面については、膨大な
広告宣伝費の出費をさけるた
め、ある会社が差別化による
市場開拓をしたところに乗っ
りたいという思いもある。そ
して、この差別化の中で備蓄
や防災などとイメージ的に絡
む商品開発により他社との差